

日中国際交流協会報

協会報第 2015 - 5 号 2015 年 5 月 5 日 発行所一般社団法人日中国際交流協会

編集人 長谷川隆淑・中村陽

4 月、上海総合株価指数が 1 日の 3,700 元から 30 日の 4,500 元 (7 年振りの高値) と証券市場は中国経済の安定・発展の実体経済を評価しているようです。一方、26 日にはネパール大地震が発生、隣接するチベット自治区で死者 25 人と負傷者 117 人と発表、同時に中国国際救援隊 60 名が 27 日午後震源地に近い現地のカトマンズ入りして捜査と救出活動が報じられている。

4 月に注目すべき項目として、(1) 対外的な経済・貿易に関する新しい施策として上海自由貿易実験区に続いて広東・福建・天津の 3 自由貿易実験区を新たに開設した件。2) 昨年中国主導で提案され、予想に反して、雪崩的に支持を集め、最終的には米国と日本を除く世界中の国や地域 57 カ所が加盟した「アジアインフラ投資銀行」A I I B 創設を促進させている「一带一路のビジョン及びアクション」の概要を注目すべきユースとして下記にお伝え申します。

目次：* 海江田会長寄稿

* 上海に続き自由貿易実験区 3 カ所の追加と各々の特色

* シルクロード経済リート・21 世紀海上シルクロードの
ビジョンとアクション

【海江田万里の政経ダイアリー】2015.5.18 号 最近の中国事情

GWを利用して、大連、瀋陽、撫順を訪れ、先週は南京大学で日本語を学ぶ学生を対象にした講演会のため南京に行ってきました。南京は、戦争中の暗い思い出があって日本人の訪問客もあまり多くありませんし、日本語を学ぶ中国人の学生の数も大連などと比べて少数です。そのような環境の中で一生懸命日本語を学んでいる中国の学生の手助けができればと講演の依頼を受けました。短い滞在期間でしたので、過去の歴史の史跡よりも現在の南京を見てもらおうという大学側の意向もあり、最近の住宅建設現場などを視察してきました。

中国では、全国的に住宅のストックが過剰気味で、ある統計によれば、現在すでに建設が終わっている住宅で、これから6年分の需要をまかなうことができるそうです。にもかかわらず、南京ではまだ新しい高層マンションが次々と建設されています。

「いったい誰がこんなにマンションを買うのですか？」と問うと、案内してくれた南京大学の教授は、「中国は女性も働いているから、自分たちの住宅を購入した後、親が子どもたちのためにマンション買っているのが現実です」と答えてくれました。たしかに、大連での私の友人の子息と現地の女性との結婚披露宴に出席した際に、「今や都会の女性は、結婚相手がマンションをすでに持っていて、結婚後、すぐに自家用車を買う約束がなければ結婚しない」と話を聞きました。親の世代は、子どもが結婚適齢期になると将来お嫁さんを迎えるための2軒目の家を買わなければならないので自身の生活費をかなり切り詰めているようです。

そういえば、日本に来て「爆買い」している中国人のグループは、子どもがまだ小さい家族が多いようで、まだ余裕があるということでしょうか。

中国も現在、国内の消費をどのように拡大するかを悩ませていて、解決策として考えられたひとつが、「一人っ子政策」の見直しです。これから中国は急速に「少子高齢化」が進みますが、日本の例を見るまでもなく、子どもの数が増えなければ健全な消費は拡大しません。そこで、これまで原則子供の数は一人に限られていた政策を見直して、子どもの数を増やす方向で政策転換を図っています。しかし、この政策が上手くいくとは限りません。日本のように一人っ子政策が無くても、出生率はなかなか「2」には届いていません。中国でも男女の晩婚化が進んでいますし、結婚相手に求める条件が厳しくなっている現状では、これから急速に子どもの数が増えるとは考えられません。

海外で中国人が「爆買い」する背景には、中国の輸入関税が高いことなども指摘されていますから、関税率の引き下げなども検討されています。また、中国人が日本製品を好むのは、自国製品に比較して日本製品が高品質だということと、食品などの安全性が高いことが考えられますから、こうした面での中国の努力も必要です。

中国のマンション価格は、北京や上海などでは値下がりが続いているようですが、南京あたりはまだ急激な下落にはなっておらず、むしろ去年から今年にかけては若干値上がりしているようです。大学の教授までもが自分の買った不動産が、今いくらに値上がりしていると嬉しそうに話すのが印象的でした。 海江田万里

自由貿易実験区 3カ所の追加と各々の特色

4月20日に国務院は、広東・天津・福建の自由貿易試験区総合プラン、及び上海自由貿易試験区の改革・開放の深化プランを承認し、通知した。

新たな3カ所の設置と上海試験区一層の改革・開放深化は党中央と国務院の重大な決定で、本土と香港・マカオの深い協力推進、京津冀（北京・天津・河北）協同発展、兩岸（台湾海峡）経済協力の深化、等々重要な措置であり、政府機能の転換加速・管理モデル刷新を模索・貿易と投資の円滑化促進・新たな改革の深化と開放の拡大を模索・新たな経験の蓄積など重要な意義が多くある。又自由貿易試験区は改革・開放の先頭に立ち、革新（イノベーション）発展の先行者となり、制度を刷新し行政管理体制改革を深め、率先して改革の潜在力を掘り起し、難問を解決し、途中や事後の監督管理の能力を高める。開放型経済体制を積極的に構築し、外資の内国民待遇とネガティブリスト管理を整え、法治化されたビジネス環境を築く。

「一帯一路」建設、京津冀協同発展、長江経済ベルト発展など国家戦略の貫徹を促進する。広東・天津・福建・上海の3省1都市の人民政府と関係官庁は自由に発想し、改革・革新に取り組み、大胆かつ積極的に模索し、統一的に計画し、協調を強め、自由貿易試験区の試行を支援する。試行の実施効果を迅速に総括評価し、踏襲と普及可能な改革経験を積み上げ、モデルとして全国を牽引する積極的な役割の発揮に期待する。

上記4カ所の自由貿易試験区は各々個別の役割を負って活動

上海自由貿易試験区は2013年9月中国国家を代表して海外との貿易取引と国際金融の業務を先進国と同レベルの自由度と合理性をもって執行する先行モデル地区として、又21世紀の新しい経済発展の指導的モデル地区とし国家によって設けられた。2年弱の時間を経て、成功裡に経験と自信を獲得し、更なる改善と革新によりその機能と役割を充実させ、国家の経済・産業の発展と人民の暮らし関わる雇用・住宅・教育・医療・民生の保障を深め、多大な成果を上げ評価を得ている。

天津自由貿易区は、北京・天津・河北の協同発展の為高い水準の対外開放プラットフォーム・世界に向けた自由貿易パークになることが目標、「一帯一路」戦略と重なり、内陸奥地と日本・韓国を繋ぐ、更に中央アジア・東欧をも繋ぐ

新しい架け橋として発展していくべく期待されている。

広東自由貿易区は南沙・前海蛇口・横琴の3か所であり、広東・香港マカオ経済の高度な融合が最大の特徴、国は「広東・香港マカオ経済協力展示区、21世紀シルクロードの重要なハブ、新ラウンド改革と開放の先行地」という戦略的な位置付けをしている。

福建自由貿易区の廈門区・福州区・平潭区などが、台湾海峡を挟んだ「兩岸経済協力深化の展示区」と位置づけられ、その実施プランは台湾向けという鮮明な特色を帯びる。全国に先駆けて台湾地区との自由な投資・貿易を推し進め。兩岸の金融協力の先行試験を推進、兩岸の業界関係者は自由貿易区の誕生で兩岸の経済・貿易の結合と協力が一段と加速され新たに高く評価している。

「一帯一路」の構想と活動方針

2013年9～10月習近平国家主席の中央アジアと東南アジア歴訪中の提案に従い、今年3月末国家発展改革委員会・外交部・商務部が「シルクロード経済ベルトと21世紀の海上シルクロード共同建設促進のビジョンとアクション」と題する文章を共同で発表した。

目次；

- 1．時代背景
- 2．共同建設の原則
- 3．枠組みと考える道筋
- 4．協力の重点
- 5．協力の仕組み
- 6．中国各地の開放態勢
- 7．中国の積極的行動
- 8．共にすばらしい未来を開こう。

前文；2000年前、ユーラシア大陸の人々はアジア・欧州・アフリカの文明を結ぶ複数の貿易と人文（人と文化）交流のルート探し出した。後世の人々はそれをまとめて「シルクロード」と呼び、何百何千年の間「平和・協力・開放・包容・相互学習・互惠・ウインウイン」というシルクロード精神が連綿と受け継がれ人類の文明の進歩を促してきた。又シルクロードは沿線各国の繁栄・発展を促進する重要な絆で、東洋と西洋の交流・協力の象徴で、世界各国は共有する歴史・文化の遺産である。21世紀、平和・発展・協力・ウインウイン

をテーマとする新しい時代に、回復力の乏しい世界の経済情勢と複雑に入り組んだ国際・地域状況下シルクロード精神を伝承し発揚する事が一層重要かつ大事になっている。

「一帯一路」建設は、沿線各国の経済繁栄と地域経済協力の促進、異なる文明の交流・相互理解の強化により世界の平和促進に役立つ一つのシステム工学であり、共同協議・共同建設・共同享受の原則を堅持し、沿線諸国の発展戦略の相互結合を推し進める必要がある。「一帯一路」の実施を推し進め、古代シルクロードに新たな生气と活力を復活し、新しいアジア・欧州・アフリカ各国

の繋がりを一層緊密にし、互惠協力を歴史の新たな高みに向かわせる為、中国政府は「シルクロード経済ベルトと21世紀の海上シルクロード共同建設促進のビジョンとアクション」を策定し発表する。

1. 時代背景：

国際金融危機の影響もあり、世界経済の回復が遅れ、国際投資・貿易の枠組み及び多国間投資・投資ルールの調整が進行中、諸国が直面する開発問題は依然として厳しい。世界の多極化、経済のグローバル化、文化の多様化、社会の情報化に沿って地域協力の精神を貫き、自由貿易体制と開放型世界経済の維持に努める。「一帯一路」の共同建設では、経済要素の秩序ある自由な移動、資源の高効率配分、各市場の融合を促して、沿線各国が経済政策の協調を実現し、より大きい範囲・より高いレベル・より深い段階の地域協力を展開し、開放・包容・均衡に基づく広範な地域経済協力の枠組みを共同で打ち立てることを目指す。

「一帯一路」は国際社会の根本的利益に合致し、人類社会共通の理想であり、グローバルガバナンスの新たなモデルの模索であり、世界の平和と発展に新たなプラスエネルギーを添え、アジア・欧州・アフリカ・各大陸とその周辺海洋の相互接続（コネクティビティー）を促進し、沿線各国の相互接続パートナーシップを強化し、全方位・多段階・複合型の相互接続ネットワークを形成し、自主的で均衡の取れた持続可能な発展を実現する。地域の潜在力を掘り起し、投資と消費を促進し、需要と雇用を生み出し、諸国民が出会い互いに理解し、信頼・尊敬・調和を基に豊かな生活を享受できるようにする。

中国は一貫して対外開放の基本的国策を堅持し、全方位開放の枠組み構築し世界の経済体制に深く融合していく。「一帯一路」の建設は、中国の対外開放

拡大と深化に必要であるのみか、アジア・欧州・アフリカ・世界各国の互惠協力の強化にも必要であり、より多くの責任と義務を担い人類の平和発展に貢献することを願っている。

2. 「一帯一路」共同建設の原則：

国連憲章の原則を守り、平和共存 5 原則を順守する。古代シルクロードの範囲に限定せず、各国と国際・地域組織はいずれも参加することが出来、共同建設の成果と恩恵をより広い地域に及ぼせる。文明における寛容を提唱し、各国の進む道とモデルの選択を尊重し、融和と包容を貫き異なる文明相互の対話を促進し、異なるものも受け入れ大同につき、平和的な共生・共栄を図る。

国際ルールに従い市場法則を守りその原理を貫き、市場原理の決定作用と各企業の主体的作用を十分に発揮させ、併せて政府のバックアップ機能もうまく生かしていく。各国・各地域の関心と利益に配慮し、協力の最大公約数を見出し、各々の英知と創意を体現させ、長所を生かし能力を尽し各々の潜在力を十分に発揮されることが重要である。

3. 枠組みと考えの道筋：

「一帯一路」はユーラシア大陸を貫き、一方が活発なアジア経済圏、一方が先進的な欧州経済圏で、中間の広範な奥地諸国は経済発展の潜在力が極めて大きい。シルクロード経済ベルトは主に中国から中央アジア～ロシアを経て欧州（バルト海）に広がり、又中央アジア～西アジアを経てペルシャ湾・地中海へ広がり、更に中国から東南アジア・南アジア・インド洋に広がるものである。21 世紀の海上シルクロードは主に、中国の沿海港から南中国海を経てインド洋に至り欧州へ伸び、又中国の沿海港から南中国海を経て南太平洋に至るものである。

「一帯一路」の陸上では国際大ルートに依拠し、経済・貿易・生産協力のプラットフォームとして沿線の中心都市をサポート拠点として、新ユーラシアランドブリッジ・中国～モンゴル～ロシア・中国～中央アジア～西アジア・中国～インドシナ半島などの国際経済協力回廊を共同で築く。海上では、重点港を拠点に、円滑・安全・高効率な輸送大ルートを共同で建設する。

「一帯一路」建設は、沿線各国に開かれた壮大な経済ビジョンであり、各国が手を携え、相互利益・互惠・共同安全保障の目標に向かって進む必要がる。地域インフラの整備、相互接続の新しい高効率で安全な陸海空ルート網の形

成、投資・貿易の一層の円滑化、高い水準の自由貿易圏網の構築、緊密な経済的なつながりが進み、政治的相互信頼を一層深め、人文交流を広げ、各国人民が仲良く交じり合い異なる文明を互いに参考し共に繁栄していくべきである。

4．協力の重点；

沿線各国の資源は分布状況が異なり、お互いの協力の余地が大きく、政策の協調、インフラの接続、貿易の円滑化、資金の融通、民心の通じ合意を主要な内容として、以下の通り重点的に協力を強化して行く。

政策協調： 重層的なマクロ政策協調と交流の仕組みを築き、利益の融合を深め、政治的相互信頼を促し、政府間協力を強化し、協力の新たな共通認識（コンセンサス）を得る。沿線各国は経済発展戦略と対策につき十分に打ち合わせを行い、大型プロジェクト実施支援や提供の問題点を話し合いで解決、地域協力の計画と措置を共同で策定推進するなどの実務協力を提供する。

インフラ相互接続： 「一带一路」建設の優先分野で、関連諸国の主権と安全保障を尊重し、インフラ建設計画や技術規格体系の打合と調整を促し、国際基幹ルート建設を共同で進め、アジアの各サブ地域やアジア・欧州・アフリカを結ぶインフラネットワークを徐々に形成するべきである。

交通インフラ： 基幹ルートと重点施設に力を入れ欠落区間を優先的につなぎ、ネック区間を無くし、開港のインフラ整備を推し進め、陸上・水運の複合輸送を円滑にし、道路の安全防護施設と交通管理施設・設備を充実させ、統一な全行程輸送調整の仕組み作りを促し、国際通関・積み替え・複合輸送の有機的な連携を促進し、正規の共通輸送ルートを作り上げ、円滑な国際輸送を実現する。港湾の共同建設や港湾インフラの整備、海上航路と便数を増やし、海上物流の情報化を強化する。民間航空の全面協力のためのプラットフォームと仕組みを整え航空インフラのレベルアップを促進する。

エネルギーインフラの相互接続；石油・天然ガスのパイプラインなど輸送ルートの安全を共同で守り、国境を跨ぐ電源開発や送電ルート建設を進め、地域電力網の改良の努力を建設的に繰り広げる。

光ケーブルなどの国境を越えた通信幹線網の建設を共同で進め、国際通信の相互接続をレベルアップし、情報シルクロードを整え、大陸間海底の光ケーブルや衛星通信を利用する情報網充実の協力を拡大する。

貿易の円滑化：投資・貿易分野の協力は「一帯一路」建設に重要な課題で、円滑な投資・貿易の障害を取り除き、各国間に良好なビジネス環境を築き、沿線の諸国や地域と自由貿易圏の協議を進め、協力の潜在力を掘り起し成果の「パイ」を大きくするべきである。

沿線諸国は情報の交換、監督管理制度の相互認定、税関協力・検査検疫・規格計量・統計情報などの法執行の相互援助を強化し、世界貿易機関WTOの「貿易円滑化協定」の実施を促進していく。国境検問所の通関施設の条件の改善、通関コストを引き下げ、通関能力を引き上げる。国境越えの監督管理手続を改善し、検査検疫証書の国際インターネット審査を促進し「認定事業者」の相互認定を繰り広げる。非関税障壁を引き下げ、技術的な障害の透明性を共同で高め、貿易自由化と円滑化をレベルアップする。

貿易構造を改善し、成長点を掘り起し、貿易取引数量の均衡を促し、クロスボダー電子商取引など新しいビジネスを発展させる。サービス貿易の促進システムを導入整備し、従来型貿易と並行して強化拡大を図り、近代的なサービス貿易を大いに発展させる。

相互の投資分野を広げ、農林牧畜漁業、農業機械製造・農産物加工・海面養殖・遠洋漁業・海洋エンジニアリング技術・環境保護産業・海上観光などの分野の協力を積極的に推し進める。

石炭・石油・天然ガスなどの在来エネルギー資源の共同開発を強め、水力・風力・太陽光・原子力による発電などのクリーンで再生可能エネルギーの協力を推進し、エネルギー資源の高度加工技術・装置・技術サービスの協力を強化し、現地での加工・実用の協力を進め、エネルギー資源協力の川上川下が一体化した産業チェーンを作り上げる。

新興産業の協力を推進し、優位性相互補完・ウインウインの原則に従い、沿線諸国による新世代情報技術・バイオ・新エネルギー・新素材など新興作業分野での掘り下げた協力を促進し、ベンチャー企業協力メカニズム作りを行う。

産業チェーンの分業配置を改善し、各地域での研究開発及び関連産業の協同の発展を促進し、各地の作業協力（下請け）能力を引き上げ、総合競争力を高める。共同投資の新しいモデルを模索し、海外での経済貿易協力区や国境を跨

ぐ経済協力区など各種作業パークの共同建設を奨励する。投資と貿易に於いてエコ文明の理念に基づき生態環境・生物多様性・気候変動などの課題についての協力を強化し、グリーン・シルクロードを共同で建設する。

各国の地元企業が沿線諸国のインフラ建設や産業投資に加わることを奨励し、属地主義による経営管理を推進し、企業が現地の経済を発展させ雇用を増やし、民生を改善し、進んで社会的責任を負い、生物多様性と生態環境の厳格な保護を積極的に助ける。

資金融通は「一帯一路」建設の重要なサポートで、金融協力を深化させ、アジアの通貨安定体制・投融資体制と信用体制づくりを進める。沿線諸国間での2国間の自国通貨交換・決済の規模を拡大する。アジア債券市場の開設と発展を促進し、A I I B・B R I C S諸国開発銀行の設立準備を共同で進め、同時に上海協力機構（S C O）融資機関の設立について協議を行う。並行してシルクロード基金の設立・運営を急ぎ、中国アセアン銀行連合体・S C O銀行連合体の実務協力を深化させ、協調融資・銀行与信などの方法で多国間金融協力を繰り広げる。沿線諸国の政府や有力な金融機関や企業による中国国内の人民元建て債権発行を支持し、又中国の金融機関や企業が国際金融市場で債券を発行し、集めた資金を沿線諸国へ投資することを奨励する。

金融監督管理の協力を強化し、リスク対応や危機処理の制度・取り決めに充実させ、国境を越えた交流・協力の仕組みを作り上げる。信用調査管理庁・信用調査機関・格付け機関の国境を越えた交流と協力を強化する。シルクロード基金及びソブリンファンドの機能を発揮させ、商業プライベートファンドや社会の資金を誘導し「一帯一路」建設プロジェクトへ参画させる。

民心が通じ合うことが「一帯一路」の社会的な基礎である。シルクロードの友好・協力の精神を広く伝え、文化交流・学術往来・人材交流・メディア協力・青年交流・女性交流・ボランティアサービス等々を幅広く展開し、中国政府の奨学金1万人枠の提供などの支援もあり沿線諸国相互間の留学生の規模拡大、映画・TVなどの共同制作、世界遺産の共同保護活動、等々2国間と多国間協力を深化させる堅固な基礎を築く。同時にシルクロードの特色を持つ逸品観光ルートや観光商品を共同で作し、観光ビザのサービス発給、国際スポーツ大会・豪華客船クルーズの推進にて観光の規模を拡大していく。又文化・メディアの国際交流を強化し、ネットワークやプラットフォームを利用し調和・友好に基づく文化生態と世論環境を作り上げ得る。

沿線諸国との伝染病流行の情報、予防治療技術の交流、専門人材の養成などの協力を強め、突発的な公衆衛生事件への対応能力を高める。又周辺国への医療援助や緊急医療救援を提供し、エイズ・結核・マラリアなど主要伝染病分野での実務協力を展開し、伝統的医学・薬学分野での共同開発や協力を拡大する。

科学技術協力を強化し、研究センター・国際技術移転センター・海上協力センターを共同で建設し、科学技術者の交流を促進し、重大難解な問題を協同して攻略するなど、科学技術イノベーション能力を共同で引き上げる。

政党・議会の相互交流の機能を活用し、沿線諸国の立法機関・主要政党や政治組織の友好往来を強化し、都市間交流・協力を繰り広げ、友好都市関係を締結することを歓迎、人文交流を重点にして実務協力を前面に出し、各国のシンクタンク間の共同研究やフォーラム共催を歓迎する。他方、沿線諸国の民間の交流・協力を強化し、末端の民衆に向け教育・医療・貧困対策・生態系保護などの公益慈善活動を幅広く展開し、沿線貧困地区の生産・生活条件の改善を促す。

5．協力の仕組み

既存の2国間、多国間協力の仕組みを利用して「一帯一路」建設を推進し、地域協力を盛んに発展させる。

2国間協力の強化、多様な意思疎通と協議を繰り広げ、協力の計画書や覚書の調印を進めて2国間協力のモデルを作り上げるなど、2国間関係の発展を促進する。2国間共同作業の仕組みを導入・整備し、「一帯一路」建設の実施プランと行動行程表を研究し、既存の様々な2国間メカニズムの機能を発揮させ、つり合いの取れた協力プロジェクトを推進する。

多国間協力のメカニズム機能を強め、上海協力機構・中国アセアン・APEC・ASEM・アジア協力対話・中国アラブ協力フォーラム・大メコン圏(GMS)経済協力・中央アジア地域経済協力、中国GCC戦略対話、等々既存の多国間協力メカニズムの機能を発揮させ、関連諸国との意思疎通を強め、より多くの国・地域を参加させる。

6．中国各地方の開放態勢

「一帯一路」建設を進めるとき、国内の各地区の比較優位を十分に生かし、

主導的な開放戦略をとり、東西と南北の相互作用・協力を強化し、開放型経済を全面的にレベルアップする。

新疆の独特な地理的優位性と西へ開かれた重要な窓口機能を発揮させ、中央アジア・南アジア・西アジア諸国との交流・協力を深化させ、シルクロード経済ベルト上の重要な交通ハブ、商業貿易・物流と文化や科学技術のセンターを作りあげ、シルクロード経済ベルトの中核エリアを築く。

陝西・甘粛の総合的な経済と文化の優位性、及び寧夏・青海の民族・人文の優位性を発揮させ、西安に内陸型改革・開放の新拠点を築き、蘭州・西寧の開発と開放を速め、寧夏の内陸開放型経済試験区の建設を進め、中央アジア・南アジア・西アジア諸国に向けたルート・商業貿易・物流ハブ・重要産業と人文交流の基地を作り上げる。

ロシア・モンゴルとつながる内蒙古の地理的優位性を発揮させ、黒龍江の対口鉄道ルートと地域鉄道網、黒龍江・吉林・遼寧とロシア極東地区との陸海複合輸送協力をより完全にし、北京―モスクワを結ぶ欧州アジア高速輸送回廊の構築を推し進めて、北へ向けて開かれた重要窓口を建設する。

西南地区、アセアン諸国と陸海で接する広西の独特な優位性を発揮させ、北部湾経済区と珠江―西江経済帯の開放・発展を急ぎ、アセアン向けの国際ルートを築き、西南・中南地区の開放・発展の新たな戦略地点を造り、21世紀海上シルクロードとシルクロード経済ベルトを有機的に繋げる門戸を築き上げる。

雲南の地理的優位性を発揮させ、周辺諸国との国際輸送ルートの建設を進め、大メコン圏との経済協力の新たな拠点を造り、チベット・ネパールを含め南アジア・東南アジアに向けた交流センターを建設する。

沿海・香港マカオ・台湾地区は開放度が高く、経済力が強く、牽引力が大きい長江デルタ・珠江デルタ・台湾・環渤海各経済区の強みを生かして、上海自由貿易試験区に続いて福建にも自由貿易試験区を設け21世紀海上シルクロードの核心区づくりを支援する。同時に広東自由貿易試験区を立ち上げ、香港マカオと台湾との協力を深化させ、広東・香港マカオの大湾区を造る。

内陸地区；奥が深く幅が広く人的資源が豊富で、産業基盤がよい内陸部の強みを生かし、長江中流都市群・重慶成都都市群・中原都市群・内蒙のフフホト

包頭オールドスと陝西の榆林の呼包鄂榆都市群・ハルピン長春都市群などの重点地域を拠点として、地域の相互作業協力と産業集積発展を推進し、重慶を西部開発開放の重要な支点とし、成都・鄭州・武漢・長沙・南昌・合肥など内陸の開放型経済拠点を造る。中国欧州ルートの鉄道輸送と開港通関の調整メカニズムを作り、中欧定期列車便を設けユーラシア大陸の東中西を結ぶ国際輸送ルートを建設運営する。更に鄭州・西安の内陸都市の空港や国際陸港建設を支援し、内陸開港と沿海や国境沿い開港の通関協力を強化し、国境を越える取引・電子商取引のサービスを展開し、沿線諸国との産業協力を深化させる。

7. 中国の積極的行動

ここ一年余り、中国政府は「一帯一路」建設を積極的に推進し、沿線諸国との意思疎通と協議を強化し実務協力を推進、一連の政策措置を実施、早期の成果が得られるように努力した。今年習近平主席・李克強首相ら国家指導者は前後20回余り各国を訪問し、2国間関係と地域の発展問題について、関係諸国の元首や首脳と会談をかさね、深い内容と積極的な意義を踏みこんで説明し「一帯一路」の共同建設で幅広いコンセンサスを得た。

プロジェクトの推進；沿線諸国との意思疎通と協議を強化し、インフラ相互接続産業投資・資源開発・経済貿易協力・金融協力・人文交流・生態系・海上協力、等々の分野で、条件の整った一群の重点協力プロジェクトを進め、いくつかの国と「一帯一路」共同建設の覚え書に調印し地域協力計画要綱作成した。

政策措置の整備；中国政府は国内の各種資源を統一的に考慮し政策支援を強化。A I I B設立を推進し、シルクロード基金を設立し、中国 欧州アジア経済協力基金の投資機能を強化した。投資貿易の円滑化を進め、地域の通関一体化改革を推進した。各地で「一帯一路」をテーマとする国際サミット・シンポジウム・博覧会を成功させ、コンセンサスの集約と協力の深化に重要な役割を果たした。

8. 共に素晴らしい未来を開こう

「一帯一路」の共同建設は中国の提案であり、開放的で包容的なもので世界各国と地域が積極的に参加することを歓迎し、新しいスタート地点に立ち中国は沿線諸国と共に「一帯一路」共同建設を契機として、平等に話しあい当事者の利益に配慮し、当事者の要望を反映させ、共に手を取り合って、より大きな範囲、より高いレベル、より深い段階の大開放・大交流・大融合を推し進めることを願っている。

「一帯一路」共同建設は目標の擦り合わせ、政策協調を主な方途とし一緻性を無理に求めず、高い柔軟性と弾力性を持つことが可能であり、多元的で開放された協力プロセスである。中国は沿線諸国と共に「一帯一路」の内容と方式を絶えず改善し共同で積極的にスケジュールやロードマップを作成し、沿線諸国の発展及び地域協力計画とドッキングさせる。

「一帯一路」は相互信頼・相互尊重の道・協力ウインウインの道・文明の相互参照の道である。沿線諸国が心を合わせて助け合い、お互いに向き合って進めば必ずやシルクロード経済ベルトと21世紀海上シルクロードの新たなページを記す事が出来、沿線諸国の人民にその成果を共有させることが可能となる。

—以上—